動物レスキュー通信

2018年4月 第59号　（平成30年4月1日発行）

発行元
一般財団法人　国連世界動物救済支援機構　詩月財団

詩月(しづく)：詩月財団　理事長
愛玩動物飼養管理士　一級
ペット災害危機管理士　三級
お問い合わせ：sizuku.foundation@gmail.com

ネコの食事　気まぐれな理由

ワンちゃんと比べるとネコちゃんの性格は気まぐれだと感じる方が多いのではないでしょうか?ワンちゃんはいつでも遊んで欲しくて、かまって欲しくて飼い主さんと一緒にいるようなイメージですが、ネコちゃんはと言えば呼んでも来ない、かまってあげようとしても逃げるなど、私もそうですが飼い主さんすらも淋しい思いをしてしまう経験がある方も多いと思います。この性格は食事に関しても表れているようです。フードを与えても食べ方にムラがあったり、お気に入りのフードにある日突然、見向きもしなくなったりするからです。

魚が好き?

アニメ「トムとジェリー」のようにネコはネズミを追いかけます。これはネコが肉食でネズミや小鳥などの小さな動物を捕食することから由来しているのだと思います。そしてこのネズミを捕食する事が人間にとって都合のいい事でした。その昔、中国から貴重な経典を船で日本に持ち込む時、その経典をネズミの外から守るために一緒に連れてきたのが、ネコが日本に入ってきたきっかけだと言われています。そして蔵をネズミから守るために飼われるようになり、日本人にとってネコはとても身近な動物になったと考えられます。今でこそ日本人はお肉をたくさん食べますが、ネコが人間と一緒に暮らすようになった頃は、動物性タンパク質は主に魚介類から摂取していました。そしてもちろんキャットフードなんてない頃ですから、ネコの食事と言えば、飼い主さんが食べているもののおすそ分けや残りものになるので当然、魚中心の食事になるのです。その為、ネコは魚が好きなのだと言うイメージがついたのだと考えられます。ちなみに、ご飯におみそ汁をかけ、色々と混ぜているものを「ネコマンマ」と呼んでいますが、実際にはネコの為には良い食事ではありません。先程も言ったようにネコは肉食ですから穀物を上手に消化する事が出来ないからです。また、残りものや手作りフードにはネギ類や生のブタ肉、生卵やチョコレートなど食べさせてはいけないものや、塩分が多いものや牛乳など、要注意の食べ物があるので、安全なキャットフードを与える事をお勧めします

総合栄養食は栄養バランスがとれているのでキャットフードを与えてあげるのが便利です。しかしその与え方もきちんと考えてあげなくてはなりません。先程、野生のネコはネズミや小鳥を捕食すると言いましたが、捕食するのですから一度に何匹もつかまえていっぺんに食べると言う事はあり得ません。人間のように一度にたくさんの量をお腹いっぱい食べるのではなく、1匹捕まえて食べ終えてから、また捕まえて食べる。と言う食べ方になります。その為、ネコの胃袋は一度に大量に食べる事に向く構造にはなっていないのです。「うちの子もすぐ残すんです」と思った飼い主さんもいらっしゃるかも知れませんが、少し食べて間をおいてまた食べる「ネコ食い」と言われている食べ方は、このネコの胃袋の構造からきているので、お行儀が悪いように感じてしまうかもしれませんが、寛大な心でみてあげましょう。もし、一日の栄養素が足りていないのに食べ残してしまっている場合はネコの健康の為にもよくありませんので、飼い主さんの方で工夫が必要です。ネコは視覚と言うよりは嗅覚で食事をします。あけたてのウエットフードやお皿に出したてのドライフードはネコにとっていい香りがして、食欲をそそるためすすんで食べてくれます。しかし、お皿の上にしばらく放置され、乾燥してしまったウエットフードやドライフードは香りが消え、食欲をそそるものではなくなってしまうのです成猫だと1日の食事は2階に分けて行っている場合が多いですが、既定の栄養素が取れていないのに食べ残してしまう場合は1日に3回～5回に分けて、少しずつ食べさせてあげる事も視野に入れてあげて下さい。又、昨日まで大好物だったフードなのに、今日になって突然そっぽを向いて全く食べなくなってしまうネコもいるようです。それは人間と同じく、ネコだって飽きる事があると言う事です。そんな場合は新しいフードと今までのフードをブレンドしてみたり、思い切って新しいフードに変えてみたりすると食べてくれる事が多々あります。ただ、急に新しいフードにするのは、ネコのお腹に負担がかかってしまう事もあるので、新しいフードと今までのフードのブレンド比率を徐々に新しいものを増やしていき、切り替える方がネコのお腹には負担がかかりにくいと思います。

知らない事を少し知るだけで、ネコとの関係が深まり、不幸な動物が減ると信じてこれからも活動してまいります。（詩月）